

令和4年度第1回天理市空家等対策協議会 議事要旨	
日時	令和4年8月23日（火）10:00～11:30
場所	天理市役所4階特別会議室
出席者 (敬称略)	並河 健 (天理市長) 東井 修司 (天理市区長連合会) 東田 匡弘 (天理市議会) 藤井 茂久 (奈良弁護士会) 山本 郁夫 (天理市商工会) 堀 貴至 (奈良県土地家屋調査士会) 吉川 徳彦 (奈良県宅地建物取引業協会) 庄田 尚代 (奈良県建築士会)
議題事項	(1) 空家等対策の現状について ①令和3年度空家等実態調査の報告について ②空き家バンクの現状について (2) 危険な空家等の対応について (3) 天理市空家等対策計画について
議事要旨	<p>(1) 空家等対策の現状について</p> <p>①令和3年度空家等実態調査の報告について</p> <p>②空き家バンクの現状について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・危険空家とならないうちに、利活用しようという機運を高めるべきである。</li> <li>・利活用できることの周知に向け、区長連合会に協力していただきたい。</li> <li>・数年経てば今回の調査の鮮度も落ちてしまうので、迅速に働きかけを行うべき。</li> <li>・協議会をプラットフォームと位置付けて、各業界の協力を得ることができる体制を築いていくべき。</li> <li>・不動産流通における空家の依頼は増加傾向であるが、天理市ではあまり増加していない。</li> <li>・空き家の登録状況が少なく、需要と供給のミスマッチが生じている。物件がないと次から希望者の選択肢に入れてもらえない。</li> <li>・業者の話は聞き入れてもらえないくとも、市の話ならというケースもある。市が直接説明できる機会を増やしていくべき。</li> <li>・成果が出そうな物件をピックアップするべきで、情報収集が大事になってくる。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"><li>・パンフレット等について、もっと市の関与を明確にしていかなければならぬ。現状では関与の仕方が伝わらない。</li></ul>
	<p><u>(2) 危険な空家等の対応について</u></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・市が代執行することを防ぐためにも、利活用できるうちでの対応を強化していかなければいけない。</li></ul>
	<p><u>(3) 天理市空家等対策計画について</u></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・計画はあくまでも計画なので、実行の面に力を入れなければいけない。</li></ul>